

教科名	発行者	教科書名
国語	光村図書出版（株）	小学校 国語

上記発行者の教科書を選定した理由

（１）教材の内容・価値にかかわって

- ・教科書名と同じ扉の詩から学習をスタートすることで、新鮮な気持ちで意欲をもって臨むことができる。
- ・児童の発達段階や季節・時期に応じた学習内容となるよう、配慮されている。（１年１学期に「つばみ」５年最初に友だちとの関わりや自分をテーマにした物語など）子ども達の日常生活や他の学習と関わらせながら学びを進めることができる。
- ・戦争を題材にした教材が３年生以上どの学年にも入っている。

（２）学習展開に向けた構成のよさにかかわって

- ・「問いをもとう」「目標」から始まり、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と児童が見通しをもって学習を進めていくことができる。「たいせつ」では学習の重要ポイントを確認でき、さらに「いかそう」では単元をとおして学んだことを、自分自身の学びとして広げていく観点を示唆しており、主体的に発展させていくことができる。
- ・説明文の学習では、第一教材での学びを生かして、第二教材で子ども達が学習を進めていかれる構成になっている。
- ・各領域の内容が、バランスよく配置されており、時期的な偏りがなく、確実な学びにつながる。
- ・これまでの学習が「確かめよう」で示されており、既習内容を確認することができる。
- ・生活科や社会科、総合的な学習の時間などへつながる教科横断的な単元が配置されている。

（３）児童の学習意欲を高める配慮にかかわって

- ・新出漢字の掲載方法がよい。特に文章の下に載せてあるものは、本文のまま記載されているので、児童に分かりやすい。また、他の読み方についても掲載されているため、同時に確認できる。
- ・大きく太い字で読みやすい表記であり、分量も適切である。入門期の子ども達にも無理がなく、学びに向かいやすい。挿絵等の配置がよく児童が意欲をもって学習できる。
- ・学習の流れや学び方を扱うページには、領域（読む、書く、話す聞く）のマークが大きく示されており、その活動の説明等が数ページにわたる際には、すべてのページの右上に継続して領域のマークが示されているため、児童が意識しやすい。
- ・デジタルコンテンツの内容が豊かで、児童が学びを発展させていく機会となる。

I 調査表 小学校 [国語] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社		
		東 書	教 出	光 村
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘 意性 〔本文、見出し、設 問、提示文等の表 現、さし絵、写真 図表、配色、コン トラスト等〕	(1) 文章の長さ、分量、難易の程度が、児童の発達段階に応じるよう配慮されているか。	○	○	◎
	(2) 学習への関心・意欲を喚起し、児童の発達の段階に即して適切な話題、話や文章の種類など調和的に取り上げるなど教材選定への配慮がなされているか。	◎	○	◎
	(3) 児童の言語活動をふまえて、全体を通して主体的な学習を促す工夫がなされているか。	◎	○	◎
	(4) 文字の大きさ、字体、行間、字間は学年発達に応じて配慮がされているか。	○	○	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、図表、写真、配色等が鮮明で、理解を助け、思考力や想像力を高めるよう配慮されているか。	◎	○	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配 列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 単元の配列が、児童の言語生活や系統的な指導に照らして適切か。	◎	◎	◎
	(2) 単元相互の関連性や連続性が、有効に図られているか。	◎	◎	◎
	(3) 主体的に取り組みながら言葉による見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら各領域の言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	◎	◎	◎
	(4) 「知識及び技能」が、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」と関連をもち、系統化されているか。	◎	◎	◎
	(5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう配慮されているか。	◎	○	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [国語]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・各社とも学習指導要領に基づき、系統的に配置されている。（東書・教出・光村） ・言語活動を通して、言語を正確に理解するとともに、伝え合う力を高める単元がバランスよく配置されている。（東書・教出・光村）
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等）	(1)	・字体が読みやすく発達段階に適した分量となっている。特に1年生の入門期の教材は分量が適切で抵抗が少ない。（光村） ・「単元の流れ」の説明が長く、児童が学習の見通しをもちにくい。（東書） ・文章が長く、構成が難しい教材が多い。（教出）
	(2)	・教科書名と同じ扉の詩から学習をスタートし、その時期の児童が興味関心をもてそうな内容を配慮した単元の配列となっている。（光村） ・「上」の教科書の扉に「年間の国語の目標」を書き込む欄が新設され、児童が主体的に学ぶ意識をもちやすい。（光村） ・他教科と関連させながら学ぶ単元があり、教科横断的に学ぶことができる。（光村） ・「情報」として教材を取り入れており、ソーシャルメディアに触れる機会が多い子ども達にとって必須の学びとして位置づいている。（東書・光村） ・1単元の中に、2以上の領域が組み合わせられて位置づいており、関連づけて学ぶことができる。（教出） ・物語と説明文が、時期的にバランスよく配置されている。伝記が2学期の学習となっており、大切に扱うことができる。（光村） ・5年生の単元について、光村と教出が「俳句」、東書が「短歌」を書く活動があるが、「俳句」の方が児童の実態にあっていると思われる。（光村・教出・東書）
	(3)	・各教材の導入が「問いかけ」で始まっており、主体的な学習につながる。（東書・光村） ・各単元において見通しがもてるように、学習過程を示したり、対話的な学びの場面を具体的に示したりしている。（光村） ・学習の流れや学び方を扱うページには、領域（読む・書く・話す・聞く）のマークが大きく示されている。その活動の説明が数ページにわたる際には、すべてのページの右上に継続して領域マークが入っており、児童が意識しやすい。（光村）
	(4)	・字の大きさが適当であり、太い文字で読みやすい。（東書・光村） ・題名や問いなどそれぞれの字の大きさや太さで書かれていて読みやすい。（光村） ・行間が適切で負担感がなく読みやすい。（光村）
	(5)	・説明文の単元では、理解を助けたり興味をもったりするために効果的な写真や図が、物語の単元では、想像をより広げるイラストが多く採用されている。（東書・教出・光村） ・配色が、カラフルであるが明るすぎず、学習に適したものになっている。（東書・光村） ・全体的な配色が緑を基調としていて落ち着きがあるが、教材の魅力を感じにくいものとしている。（東書）

3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) ・「付録」に「言葉の道楽箱」があり、括弧の使い分けや電話の応対の仕方等、日常生活に密着した学習内容が配置されている。（教出） ・「3年上」のローマ字だけにとどまらず、パソコン入力まで示されている。（教出・光村） ・図書館の利用についての単元が、学年の初めの時期にあってよい。（東書・教出・光村） ・入門期の児童に、無理のない配列になっている。（東書・教出・光村） ・「漢字学習ノートの使い方」が示されており、児童が学習に取り入れやすい。（教出） (2) ・各社とも読み物単元の最後には、関連の図書が紹介されており、本に触れる機会を広げる工夫がなされている。（東書・教出・光村） ・説明的文章の学習では、第一教材で文章の構造や構成の読み方や身につけるべき内容の学び方を知り、第二教材でその学びを生かして自ら学習することが出来る。（教出・光村） (3) ・学習のめあてやねらい、学習の流れや展開が分かりやすく記されていて、何を意識して指導していくのか、児童が何を大切に学習していくのかが明確である。（東書・教出・光村） ・ふり返りの観点が示されており、児童が学習をふり返し、次の単元の学習をよりよくする意識が高まる。（東書・教出・光村） ・話し合いの方法が例として分かりやすく示されている。（光村） ・話し合いの例示が丁寧だが、少し分量が多いため、話し合いの実践への自由度が低くなる可能性がある。（東書） (4) ・各社ともに三つの観点が内容豊かにバランスよく配置されている。（東書・教出・光村） ・単元内でも、「説明文を読む」→「その構成を生かして自分で書く」→「グループで伝え合う」など、様々な言語活動が盛り込まれており、知識・技能の習得に有効である。（東書・教出・光村） ・学年に応じた「国語ノートの作り方」と「デジタルノートの作り方」のそれぞれの説明があり、わかりやすい。（東書） ・漢字を使って文章を作る単元が定期的に配置されていて、ふり返りながら学習ができる。（東書・教出・光村） (5) ・内容に即した挿絵が効果的に配置されている。（東書・光村） ・見開きで写真が多用されているページと文字だけのページがあり、偏りがある。（教出） ・学習の流れや活動を示すページには、写真やイラストだけでなく、実際の動画等が見られる二次元コードが掲載されており、学習展開が豊かになっている。（東書・教出・光村） (6) ・評価のふり返りが明記されており、学習のまとめに位置付けることができる。（東書・教出・光村） ・3つの評価の観点でふり返ることができ、児童自身の学びのあり方やよさが確かめられる。（光村） ・単元全体の「問い」「目標」、単元の流れやふり返りが示されているので、学習の見通しがもちやすい。（光村） ・単元の目標とふり返りが、それぞれ囲みの中に示されていて分かりやすい。（東書）
4 全体的な特色	(1) ・年間通して1冊なので、学習した単元をふり返ることができるよさがある反面、重さの負担がある。（東書・光村） ・各社学びの見通しをもちながら、実態に合わせて主体的に学べる工夫がなされている。（東書・教出・光村） ・全編「見通す」「取り組む」「ふり返る」のくり返しで子ども達が学習の見通しをたてやすい。朗読指導も明確に取り入れられている。（東書） ・題材の前後に関連した内容の材が置かれ、関連付けた指導がしやすいように工夫されている。また、全編「問いをもとう」「目標」「ふり返ろう」のくり返しで、子ども達が見通しをもつことができ、主体的な学びが期待できる。（光村）

教科名	発行者	教科書名
書写	光村図書出版（株）	小学校 書写

上記発行者の教科書を選定した理由

1. 基礎的基本的な内容の習得にかかわって

- ・手本ページに、書き順が小さく示されていたり、穂先が濃淡の墨で示されていたりして、学習を進める上でとても分かりやすい。
- ・朱墨と墨字の見本が並んで表されており、筆の動きを確認しやすい。
- ・始筆、送筆、終筆の墨の濃淡だけでなく、イラスト付きの説明がついており、理解して実践できる。
- ・「ねらい」「たいせつ」や学習の進め方が明記されているため、学ぶべきことを理解し、課題をもって学習することができる。
- ・お手本の文字を参考にしながら直接書き込めるページがあり、学びやすい。

2. 教科書の構成にかかわって

- ・児童の発達段階に即した文字配列になっているとともに、日常生活で活用できるよう配慮されている。
- ・様々な場面で書かれた文字を扱い、文字に対する関心を高めるとともに、活用能力を高める構成となっている。
- ・国語の学習と関係した題材が配置されていて、学びを深めることができる。
- ・他教科との関わりが意識され、教科横断的な学習が可能となっている。
- ・それぞれのめあてに、毛筆だけでなく硬筆の例が示され、日常で生かせる構成になっている。
- ・「もっと知りたい」「書写ブック」「SDGsブック」などにより、学習の広がりが期待できる。

3. 児童の学習意欲を高める配慮にかかわって

- ・図表が落ち着いた色味で見やすく、分かりやすい。
- ・猫のキャラクターと筆の動きを音で表しているため、視覚だけでなく音声でもとらえやすい。
- ・はね、折れなどをキャラクターが示すなどして、児童が自ら気づきながら習得できる。
- ・「もっと知りたい」での学習により、子ども達が「文字」に対する関心をもって生活する姿につながる。

I 調査表 小学校 [書写] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社		
		東書	教出	光村
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等)	(1) ひらがな、カタカナ、漢字などの配列、字形・分量等は、発達段階に合っているか。	○	○	◎
	(2) 生活経験に即し、文字に対する興味・関心を高める学習となるよう配慮されているか。	◎	◎	◎
	(3) 児童の気付きを大切にし、必要な技能を身につけられるよう配慮されているか。	○	◎	◎
	(4) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、文字、さし絵、写真、配色、図表、コントラスト等などが鮮明で適切か。	◎	○	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	(1) 点画・筆順・文字の大小、書体などからみて、単元の配列が適切であるか。	◎	◎	◎
	(2) 硬筆、毛筆の基礎的な技能がわかりやすく段階的に配列され、学年間の関連が配慮されているか。	◎	◎	◎
	(3) 日常生活に役立ち、文字に関わる経験を相互に関わり合いながら、豊かにできる題材など、児童の主体的な学習を育てる題材が配列されているか。	◎	◎	◎
	(4) さし絵、写真、図表、参考作品などが、指導に生かせるよう工夫されているか。	○	◎	◎
	(5) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [書写]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・各社とも書写の目標を達成するために必要な内容が的確に盛り込まれており、各学年段階で求められる書く力が確実に身につけられるよう配慮されている。 ・それぞれの学年で学習すべき運筆が確実に位置づいている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・選ばれた文字の難易度が適切で、特にひらがながそれぞれの学年の子ども達にあっている。(光村) ・教科書への書き込み練習の欄があり、ワークブックとしても利用しやすい。(光村・東書) ・各社とも1年生から水書シートを取り入れている。(東書・教出・光村) ・既習事項をふり返りながら、より多くの点画を練習することができる。(光村) ・曲がりや反りの部分だけが示されており、具体的な練習文字が示されていない部分がある。(東書) ・無理のない配列である。入門期の姿勢や運筆等を大切に扱っている点が良い。(東書・教出・光村)
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2)	・各社とも、ポスターや原稿用紙、手紙など生活経験に即した学習が配置されている。(東書・教出・光村) ・「レッツ トライ」で他教科や生活の中での書く活動が掲載されている。(教出) ・「もっと知りたい」のコーナー等、文字への関心を高める工夫がされている。(光村)
	(3)	・はね、折れなどをキャラクターが示すなどして、児童自ら気づきながら習得できる。「すう」「ぴた」等の擬音を使って、意識しやすくなるよう工夫している。(光村) ・児童の気づきを考えて取り入れていると思われるが、巻頭に「おかしな○○」と示されているのは、教育的に気になる。(東書) ・「たいせつ」「ここがたいせつ」「書写のかぎ」として、文字を書く時のポイントが明記されており、児童が意識すべき内容を理解して取り組むことができる。(東書・教出・光村)
	(4)	・キャラクターが「おれ・まがり・そり」等の特徴を示したり、書き順が色別となっていたりと、児童にとって分かりやすい内容となっている。(光村) ・目次が折込となっているため見にくい。(教出) ・文字のコントラストを大きくすることで、重要なところと詳細なところが見分けやすくなっている。(東書・教出・光村) ・各社とも文字や挿絵、図表や写真など、配色や大きさなど見やすく、学習の意欲を高めている。(東書・教出・光村)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・無理のない配列である。姿勢や筆や鉛筆の動かし方など大切に扱われていてよい。(東書・教出・光村) ・各社ともに1、2年生で水書シートがついており、硬筆での筆圧のかけ方や筆遣いを習得できるとともに、毛筆書写への導入となっている。(東書・教出・光村)

「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	・各社とも基礎的な技能内容が段階的に配置されており、教科書にしたがって学ぶことで技能の習得につながる。（東書・教出・光村） ・学習の流れが分かりやすく記され、全体の見通しがもちやすい。（東書・教出・光村） ・2年の「はらいの方向」では、はらいの方向を矢印とともに動物キャラクターの体勢で示したり、同じ左はらいの漢字を探す活動を取り入れたり、はらう方向に気をつけて練習したり、様々な学習や配慮が位置づいている。（光村） ・毛筆書写が硬筆へ生かされることについて、毛筆への取り掛かりとなる三年の巻頭で説明されている。（教出）
	(3)	・各社とも、国語の教科書と連携した教材が配置されている。（東書・教出・光村） ・中綴じに「SDGsブック」が新たに加わり、書写学習内のできるSDGsな取り組みが紹介されている。（光村） ・6年では、今まで学習してきた内容や日常生活で生かされる言語活動が配置されており、「書写ブック」としてまとめられている。（光村） ・他の教科との関わり（社会科や外国語等）が意識され、教科横断的な学習が可能となっている。それぞれのめあてに、毛筆だけでなく硬筆の例が示され、日常で生かされる構成になっている。（東書・教出・光村）
	(4)	・1～6年まで統一したキャラクターの使用で、子ども達が親しみをもちやすく、分かりやすい。動きを示す音声も同時に示しており、実態に合わせて声を出しながら動きを練習するのに適している。（光村） ・写真や動画が豊富に掲載され、児童の関心を高めるとともに、自分で学習のポイントを確認できるので、児童が学びやすい。（東書・教出・光村） ・筆遣いを音で表し、児童が感覚的にとらえやすい。（東書・教出・光村） ・毛筆手本と同ページに小さく書き順が示されている。（東書・光村）
	(5)	・ねらいと学習の進め方が明記されているので、ふり返りを確実に行うことができる。（光村） ・「生かそう」では、鉛筆で書く部分を設けたり、「たいせつ」でポイントを示したりと、学習の観点が明確になっている。（光村） ・ふり返りが「考えた」「分かった」「できた」の3観点でわかりやすい。（東書）
	(1)	・各社ともにタブレットとの共有ができ、個に応じた学習が進められるよう配慮されている。（東書・教出・光村） ・書写体操が巻頭に明記されていて、書写学習へのウォーミングアップとして適切である。（光村） ・各社ともに児童が興味をもてるイラストや写真、見通しをもって学べる工夫が多く施されている。（東書・教出・光村）
4 全体的な特色		

教科名	発行者	教科書名
社会	東京書籍㈱	新しい社会

上記発行者の教科書を選定した理由
・身近な事象から問題解決的に学習展開することで、発展的な学習や社会参画につながるように工夫されている。 ・児童の意識に沿った学習問題が提示されている。 ・調べる内容や方法、学習のまとめ方、重要語句が明示され、児童が主体的に学習できるように工夫されている。 ・働かせる見方・考え方の4種類のマークを設定し、各ページに配置することで、多角的な追究につながる。 ・自分たちでできることを視点に、様々な表現方法が例示され社会参画につながる資質への配慮がなされている。 ・「まとめる」の学習段階を明示し、文書・キャッチコピー・カードに整理するなど発達段階に合わせた多様なまとめ方が提案されており、習得した知識を定着させるとともに思考力・判断力・表現力を育てるよう配慮されている。 ・資料の読み取り方やまとめ方を例示することで、社会科的な見方・考え方を働かせ見学・観察・調査・表現活動ができるように配慮されている。 ・複数の写真やさし絵を大きく見開きで並べて提示するといった割付を工夫することで、資料を比較・関連付けて読み取る活動ができるように配慮されている。 ・二次元コードがページの同じ場所に同じ色で配置されている。またどんなコンテンツにつながるのかも明記されており、児童が使いやすいように配慮されている。 以上により、本書は児童にとって最も適した教科用図書（社会）であると考えている。

I 調査表 小学校 [社会] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社		
		東書	教出	日 文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(1) 内容、程度が児童の発達の段階に応じるよう配慮されているか。	◎	◎	◎
	(2) 児童の関心・意欲を喚起し、学びの深まりを導く展開への工夫がなされているか。	◎	◎	○
	(3) 児童自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫されているか。	◎	○	◎
	(4) 観察や調査・見学などの体験活動やそれに基づく表現活動を進めることができ、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮があるか。	◎	○	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、写真、統計資料、地図、年表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、児童の意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 基礎的・基本的な内容の厳選、単元の適切な配列がなされているか。	◎	◎	◎
	(2) 問題から問題へと連続的に追究できるように単元構成がなされているか。	◎	○	○
	(3) 主体的に取り組みながら社会的な見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考える力を養う配慮がなされているか。	◎	◎	◎
	(4) 社会に見られる課題への配慮がなされているか。	○	○	◎
	(5) さし絵、写真、統計資料、地図、年表等の扱いが学習指導の展開に生かさせるものになっているか。	◎	◎	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色	◎	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [社会]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科書の目標からの配慮	(1) ・各社とも学習指導要領をふまえ、児童が身近な社会的事象や今日的な課題から問題意識をもち、調べ、話し合い、まとめられるように配慮されている。 ・各社とも各単元の目標が明確で、目標達成に必要な内容が位置付けられている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等】	(1) ・各社とも各学年の発達段階に応じて、身近な社会的事象から学習問題を作り、興味をもって調べ、考えていくことができるように内容が配慮されている。また身近な社会的事象の写真・資料の気づきから学習問題をつくり、興味・関心をもって追究できるように配慮されている。 (2) ・身近な事例から問題意識を喚起し、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と学習段階が明示されており、見通しをもって学習を深めることができるように工夫されている。（東書、教出） (3) ・各社ともめあてや学習問題が提示され主体的に学べるよう配慮されている。 ・児童の意識に沿った学習問題が提示され、調べる内容や方法、学習のまとめ方、重要語句が明示され、児童が問題意識をもって主体的に学習できるように工夫されている。（東書、日文） (4) ・各社とも調査活動や表現活動で児童の見方や考え方が深まるように工夫されている。 ・「まなび方コーナー」に資料の読み方、調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動に応じたまなび方が具体的に示されており、系統的に学習技能を身に付けられるよう配慮されている。（東書・日文） (5) ・各社ともさし絵や写真が大きく鮮明で、ゆったりと掲載されており、児童の追究意欲を高め、資料を読み取ることができるように配慮されている。 ・資料の読み取り方やまとめ方を例示することで、社会科的な見方考え方を働かせ見学・観察・調査・表現活動ができるように配慮されている。また、二次元コードがページの同じ場所に同じ色で配置されており児童が使いやすいように配慮されている。（東書）
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価】	(1) ・各社とも学習指導要領の内容がバランスよく配列され、身近な事例から次第に学習する対象を広げていくことができるように単元の配列が工夫されている。 (2) ・各社とも1時間の授業ごとの「問い」が明示され、問題意識をつなげて授業が展開できるように単元構成がなされている。 ・「単元のめあて」「小単元の学習問題」「本時のめあて」が明示され、「予想」、「追究」と児童の意識に沿って問題解決的に学習を進めることで、主体的に取り組む態度を養う工夫がされている。（東書） (3) ・資料を通じ対話的な学びを促し、社会的事象の特色や意味を多角的に思考できるように配慮されている。（教出、日文） ・働かせる見方・考え方として4種類のマークを設定し、各ページに配置することで、着目する視点を明らかにし、多角的な追究につながるように配慮されている。（東書） (4) ・各社とも今日的な課題についての自分の考えを提案したり実践したりする学習段階を設け、社会の形成に参画・貢献する資質の基礎を養うことができるように配慮されている。 ・SDGsに関連した内容が多く提示され、社会の持続可能な発展に関わる問題を自分ごととしてとらえ、社会科的な見方・考え方を働かせながら学ぶことができるように工夫されている。（日文） (5) ・各社とも複数の写真やさし絵を大きく見開きで並べて提示することで、資料を比較・関連付けて読み取る活動ができるように配慮されている。 (6) ・「まとめる」の学習段階を明示し、文章・キャッチコピー・カードに整理するなど発達段階に合わせた多様なまとめ方が提案されており、習得した知識を定着させるとともに思考力・判断力・表現力を育てるよう配慮されている。（東書、教出）
4 全体的な特色	(1) ・身近な事象から問題解決的に学習展開することで、発展的な学習や社会参画につながるように工夫されている。資料の見方や見学の仕方などが分かりやすく示されている。さらに、様々な社会科的な見方・考え方を働かせ、発達段階に合った表現活動ができるように、まとめ方が工夫されている。（東書） ・問題解決的な学習を通して学習の充実が図られるよう工夫されている。まとめの場面では様々な表現活動が提案され、対話を通して学習が深まるような工夫がされている。また、次につなげようの欄が見開きの右下にあり、次時への見通しがもちやくすなっている。（教出） ・情報を適切に調べ、まとめる技能が身に付けられるように調べ方を具体的に示すなど配慮されている。随所にSDGsの取組が紹介され、社会の持続可能な発展に関わる問題を自分ごととしてとらえ、社会的な見方・考え方を働かせながら学ぶことができるように工夫されている。（日文）

教科名	発行者	教科書名
地図	㈱帝国書院	楽しく学ぶ小学生の地図帳

上記発行者の教科書を選定した理由

- ・社会科を学ぶ上で必要不可欠な地図資料はもちろんのこと、関連するグラフや図表なども十分に備えられており、児童が主体的に学習を進めることができる。
- ・それぞれの地図が鮮明な色調で読図しやすい。立体感のある地図表現で、地形や土地利用の特徴がつかみやすく、地図や資料の活用能力を高められるように配慮されている。
- ・広く見わたす地図は、情報量が抑えられすっきりとして誰にでも見やすいよう配慮されている。
- ・3学年からの利用も考慮し、発達段階に応じた学習に対応できるよう配慮され、学年に応じた活用ができ様々な角度から学習できるよう配慮されている。
- ・統計資料は主要な統計指標の他、各学年の学習に即した指標によるデータや児童に身近な農産物や工業製品の生産等を図やグラフで示し、統計資料を有効に活用できるよう工夫されている。
- ・SDGsに関連する資料や、自然災害と防災についての主題図が見開き2ページにわたって用意されており、現代社会の課題に対する意識が高められるよう配慮されている。
- ・冒頭で、地図の成り立ち、方位、地図記号の理解、地図のやくそくなど、地図帳の使い方に関する内容が段階的に丁寧に扱われており、資料活用の基礎的な能力を養うよう工夫されている。
- ・二次元コードのリンク先にある各都道府県の地図は、社会的な見方・考え方を働かせて学べるよう工夫されている。
- ・統計資料を用いた主題図やグラフが掲載され、それについて問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置しており、地図帳をもとに進んでテーマ学習ができるように工夫されている。

以上のことから、本書は社会科学学習にとって最も適した教科用図書（地図帳）であると考えられる。

I 調査表 小学校 [地図] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		東書	帝国
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等)	(1) 地域区分、地名、産物等の表記の分量と選択が適切で、読み取りやすい工夫がされているか。	○	◎
	(2) 問題追究の過程で、地図を読んだり、進んで活用したりすることができるような工夫がなされているか。	◎	◎
	(3) 地図表現の段彩等が鮮明で美しく、親しみやすく学習できるように配慮がなされているか。	○	◎
	(4) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、写真、絵、統計資料、地図等は、正確で新しく、配色やコントラストが鮮明で分かりやすく、その提示が内容に即して適切か。	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	(1) 基本地図の配列が適切であり、それ以外の自然、人文各種地図が、各学年の単元展開に効果的に使用できるように配慮がなされているか。	○	◎
	(2) 各種地図が、関連的に考察できるように配慮されているか。	◎	◎
	(3) 現代社会の姿や課題への配慮がなされているか。	○	○
	(4) 写真、絵、統計資料、地図等の扱いが学習指導の展開に生かせるよう工夫されているか。	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [地図]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科書の目標からの配慮	(1) ・各社とも社会的現象への興味・関心をもちながら地域の様子を理解したり、地図帳を効果的に活用したりすることができる能力を育てられるように配慮されている。 ・地図の読み方が段階に応じて身に付けられるよう工夫され、国土や世界の地理的理解ができるよう配慮されている。(東書) ・基礎的な読図技能とその活用方法を示すことで資料活用能力を高め国土や世界の地理的理解ができるよう配慮されている。(帝国)
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) ・各社とも日本の地方図は8地方に主要地域の地図が加えられており、重要な地名・産物・史跡等についてイラストを交えて表記し、地名には極力ふりがなを付すなど、読み取りやすくなるように工夫されている。 ・広く見わたす地図は、情報量が抑えられすっきりとして誰にでも見やすいよう配慮されている。(帝国) (2) ・各社とも統計資料を用いた主題図が掲載され、統計資料やグラフ、それについて問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置しており、地図帳をもとに進んでテーマ学習ができるように工夫されている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(3) ・それぞれの地図が全体的に鮮明な色調で読図しやすい。立体感のある地図表現で土地の高低がとらえやすく地形の様子が分かりやすいよう配慮がされている。(帝国) (4) ・各社とも写真・イラスト・資料・地図等は、最新のデータに更新されている。 ・統計資料は主要な統計指標の他、各学年の学習に即した指標によるデータや児童に身近な農産物や工業製品の生産等を図やグラフで示し、統計資料を有効に活用できるよう工夫されている。(帝国) ・鮮やかで見やすい写真やイラスト、グラフなどの資料を多く使用し、各地の様子や産物を捉えやすいように配慮されている。(東書)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ・各社とも基本地図の配列が適切であり、それ以外の各テーマ地図が、学年の単元展開に効果的に使用できるよう配慮されている。 ・3学年向けに「地図の成り立ち」など記載内容を精選した地図が用意されている。また4学年向けに都道府県の名前と位置についての記載があり各学年の学習内容に応じて学習できるよう配慮されている。(帝国) (2) ・各地方の地図では、土地の高さによる色分けと、土地利用による色分けがなされた地図表現により、関連した考察が可能になり、地域の特色をとらえやすいよう工夫されている。また、二次元コードのリンク先にある各都道府県の地図は、社会的な見方・考え方を働かせて学べるよう工夫されている。(帝国) ・地形や産業などの主題図に写真が共に掲載されていたり、年表にある出来事の地理的な位置を明示したりするなど、地図と資料、写真を関連付けながら学べるように配慮されている。(東書) (3) ・各社とも現代社会の課題について特設頁を用いて表現する配慮がされている。 ・SDGsに関連する資料や、自然災害と防災についての主題図が見開き2ページにわたって用意されており、現代社会の課題に対する意識が高められるよう配慮されている。(帝国) ・各地の伝統工芸品や名産品、郷土の偉人に関する記念館などを多数取り上げ、郷土の誇りと愛情を育めるよう配慮されている。(東書) (4) ・冒頭で、地図の成り立ち、方位、地図記号の理解、地図のやくそくなど、地図帳の使い方に関する内容が段階的に丁寧に扱われており、資料活用の基礎的な能力を養うよう工夫されている。(帝国) ・地図には物差しを用いた縮尺、磁針を用いた方位などの凡例が示されている。また地球儀の使い方を学ぶページでは、写真を多く用い、具体的な操作方法がイメージしやすくなっているなど、発達段階に応じた地図学習の基礎を学べるよう工夫されている。(東書)
4 全体的な特色	(1) ・それぞれの地図が鮮明な色調で読図しやすい。立体感のある地図表現で、地形や土地利用の特徴がつかみやすく、地図や資料の活用能力を高められるように配慮されている。(帝国) ・統計資料や主題図が豊富で学習のポイントの示されている。3学年からの利用も考慮し、発達段階に応じた学習に対応できるよう配慮され、学年に応じた活用ができ様々な角度から学習できるよう配慮されている。(帝国) ・写真を多く用い主題図にイメージを持ちやすくしている。地名や地図記号などが見やすく工夫され、鮮明な写真やイラストで親しみながら地図帳を活用できるよう配慮されている。(東書)

教科名	発行者	教科書名
算数	㈱新興出版社 啓林館	わくわく 算数

上記発行者の教科書を選定した理由

- (1) 系統性を重視した学習内容や単元構成
- ・準備や復習のページがあり、既習内容を確認できるようになっている。また巻末の復習問題が充実している。
 - ・1時間の授業展開をふまえ、スモールステップで展開が進められるように、問題内容が精選されている。
 - ・単元の流れをもとに、既習事項を振り返りながら、理解を深めることができる問題配列になっている。
- (2) 児童の多様な考え方や処理のし方を生み出す配慮
- ・数直線の他に関係図や表などをともに提示しながら、多様な考えをもてるように配慮されている。また、吹き出しなどを使って、ヒントや考え方の説明が精選され、重要な部分が的確に提示されている。
 - ・テープ図や数直線、表やグラフなどの考え方を一つ一つ提示し、考え方の整理をきちんと位置付けることができる。
 - ・多様な考えが引き出されるよう、
 - ・問題解決に有効な図、具体物の操作が提示され、考えを説明する力も育む工夫がみられる。
- (3) 算数への興味・関心を高め、主体的な活動ができるような工夫
- ・単元の導入では、数学的活動を積極的に取り入れ、児童自ら課題設定ができるように配慮されている。導入時に子どもたちの言葉で疑問やめあてが端的に語られ、学習への見通しが持ちやすい。
 - ・巻末に使いやすい切り取り教具（ものさしなど）があり、意欲的に学習できる。
 - ・作図や考え方の流れについて手順を追って、順々にわかりやすい資料が提示されている。
 - ・数直線以外に、様々な考え方を提示し、シンプルな吹き出しを通して、ひとりの主体的な考え方を広げられる工夫がされている。また、つまずきが多い問題に対しては、手厚く確認できるように配慮されている。
- (4) 内容を補充・発展させ、個に応じた指導への対応
- ・振り返り問題や定着問題を設け、繰り返し個に応じた学習ができ、定着が図られるように配慮されている。
 - ・「学びをいかそう」など、興味・関心を持ちやすい発展的な内容も示されている。
 - ・「見方・考え方をふかめよう」では、数量の関係や問題の条件に着目して解決する文章題を扱い、数理的な思考力や判断力を伸ばすよう工夫されている。
 - ・単元末の「れんしゅう」「学びのまとめ」や巻末の「もっと練習」により、基礎学力の定着が図られるよう工夫されている。

I 調査表 小学校 [算数] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等)	(1) 発達段階に応じ、児童の多様な考え方や処理のし方を生み出せるように配慮され、分量も適切か。	○	○	○	○	◎	○
	(2) 興味・関心を喚起し、自ら問題を見だし、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善するなどの数学的活動になるよう、内容構成への配慮がなされているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(3) 現実の世界と数学の世界それぞれにおける問題解決の過程が相互にかかわり合いながら、児童自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう、展開が工夫されているか。	◎	○	○	○	○	○
	(4) 既習の学習内容を繰り返し学習ができるような配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、資料、図表等の意図が明確で、児童の興味や関心が高まるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	(1) 単元の構成や配列が、目標に照らして適切か。	○	○	◎	◎	◎	◎
	(2) 数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用の内容が児童の発達に即して系統化され、基礎的・基本的な内容の扱いが適切か。	◎	◎	○	◎	◎	○
	(3) 主体的に活動しながら数学的な見方・考え方を働かせ、事象を数量や図形、それらの関係などに着目して捉え、相互に関わり合いながら根拠を基に筋道を立て、統合的・発展的に考えられるよう配慮されているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(4) 数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用の各領域を互に関連づけたり、内容を補充・発展させたりして、個に応じた指導に生かせるように配慮されているか。	◎	○	○	○	◎	◎
	(5) 用語、記号、記述が数学的に正確であり、さし絵や資料等が指導に生かせるものになっているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	○	◎	○	◎	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○	◎	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [算数]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・各社とも、算数的活動を通して主体的に学び、分かった実感が持てるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1)	・各社とも、ヒントとなる考えの例示やコメントなどが多く見られ、多様な考え方を引き出す工夫がされている。 ・数直線の他に関係図や表など、ともに提示しながら、多様な考えをもてるように配慮されている。また、吹き出しなどを使って、説明も最低限にするなど工夫されている。（啓林館）
	(2)	・各社とも導入での興味・関心を惹きつける問題提示やキャラクターのコメント等により、算数的活動を通して見通しをもった学習が行えるよう工夫されている。 ・単元の導入では、算数的な活動を積極的に取り入れ、児童自ら課題設定ができるように配慮されている。導入時に子どもたちの言葉で疑問やめあてが端的に語られ、学習への見通しが持ちやすい。（啓林館） ・子どもたちの多様な考えが引き出せるように、場面設定が工夫されている。（東書）
	(3)	・各社それぞれ問題提示の仕方やキャラクターによるつぶやき、コメント等で主体的・対話的に学習できるように工夫されている。 ・具体的な買い物や生活体験場面から、問題提起が図られるように、導入が工夫されており、現実の世界と関わり合うように配慮されている。（東書）
	(4)	・各社とも、既習の学習内容を繰り返し学習できるよう配慮されている。QRコードを有効に利用し、視覚的に支援できる機会が拡大されている。 ・章末の復習問題が充実している。（啓林館） ・既習事項の確認を図るために、「じゅんぴ」の問題があり、身の回りのことがらや既習事項を取り上げて興味や関心をもって新しい学習に入っていけるように工夫されている。（啓林館） ・簡単な問題から始まり、スモールステップで学習を進められる工夫がされている。（東書・学図） ・振り返り問題や定着問題を設け、繰り返し学習ができ、定着が図られるように配慮されている。（啓林館・日文・教出・大日本）
	(5)	・各社とも、用語や記号については正確を期し、挿絵や資料は身近なところと結びつけ、見通しが持ちやすいよう工夫されている。 ・誰もが紙面の内容を判別しやすい配色やデザインになっている。ユニバーサルデザインフォントを採用し、児童が読みやすいように工夫されている。（啓林館） ・ヒントとなるコメントがわかりやすく提示され、課題解決の手がかりにできる。（啓林館・東書）
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・各社とも単元の系統性や関連性を意識した単元構成や配列がなされている。 ・多様な考えが引き出されるよう、ヒントや考え方の説明が精選され、重要な部分が的確に提示されている。（啓林館） ・単元の流れをもとに、既習事項を振り返りながら、子どもたちが既習を確認しながら、理解を深めることができる問題配列になっている。（啓林館・教出・日文） ・基本問題から発展問題まで幅広く学習を深めることができる。（学図）
	(2)	・各社とも、基礎的・基本的な内容が定着しているかを確認しながら学習が進められるよう配慮されている。 ・準備や復習のページがあり、既習内容を確認できるようになっている。また巻末の復習問題が充実している。（啓林館） ・前の学習とつなぐ。次の学習へのつながりをつくることに重きを置いた単元設定になっている。（東書） ・1時間の授業展開をふまえ、スモールステップで展開が進められるように、問題内容が精選されている。（啓林館・教出・東書・大日本）

「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(3)	・各社とも、数学的な考え方や表現・処理のよさを感じられる工夫がされている。 ・「見方・考え方をふかめよう」では、数量の関係や問題の条件に着目して解決する文章題を扱い、数理的な思考力や判断力を伸ばすよう工夫されている。（啓林館） ・「学びをいかそう」など、興味・関心を持ちやすい発展的な内容も示されている。（啓林館） ・テープ図や数直線、表やグラフなどの考え方を一つ一つ提示し、考え方の整理をきちんと位置付けることができている。（啓林館） ・多様な考え方を提示し、その考えに触れ、自分に適した考えや思考に出会うことができるようにしている。（東書）
	(4)	・各社とも、図表やそれぞれ問題提示の仕方やキャラクターによるつぶやき、コメント等で主体的に多様な考えが生み出されるように工夫されている ・問題解決に有効な図、具体物の操作が提示され、考えを説明する力も育む工夫がみられる。（啓林館） ・様々な学習形態に対応できるよう、発展的な問題と補充的な問題が「もっと練習」として位置づけられており、個に応じた指導の充実が図られている。（啓林館） ・図や表が大きく見やすく提示され、計算の意味や考え方を説明できるような場面設定もある。（東書） ・単元末の「たしかめ問題」に様々な工夫がされ、児童一人ひとりに合わせた指導に対応できるようになっている。（東書） ・算数マイトライで、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」の様々な問題があり習熟度別指導や「個別最適な学び」に対応している。（日文）
	(5)	・各社とも、用語や記号については正確に用いられている。 ・巻末に使いやすい切り取り教具（ものさしなど）があり、意欲的に学習できる。（啓林館） ・作図や考え方の流れを手順を追って、順々にわかりやすい資料が提示されている。（啓林館・東書）
	(6)	・各社とも、単元末や巻末で学習内容の定着を自己評価し、主体的な学習を進め定着が図られるよう工夫されている。 ・単元末の「れんしゅう」「学びのまとめ」や巻末の「もっと練習」により、基礎学力の定着が図られるよう工夫されている。（啓林館） ・章末の練習問題など、個に応じて学習内容を確実に振り返ることができるように工夫されている。（啓林館・学図） ・「算数マイノートを学習に生かそう」で、ノートの活用を通して児童の思考力・判断力・表現力を伸長させ、大切な数学的な見方・考え方の振り返りと自覚を重視できるように、配慮されている。（東書）
4 全体的な特色	(1)	・各社とも、児童が主体的に学習に取り組み、知識・技能の定着や活用する力が育まれるよう、問題やヒントの提示、作業的・体験的活動の取入れなど、多くのくふうがなされている。また、ICTを活用したコンテンツも豊富にあり、視覚的にも大変わかりやすい内容になっている。 ・数直線以外に、様々な考え方を提示し、シンプルな吹き出しを通して、ひとりの主体的な考え方を広げられる工夫がされている。また、つまづきが多い問題に対しては、手厚く確認できるように配慮されている。（啓林館・東書）

教科名	発行者	教科書名
理科	(一社)信州教育出版社	楽しい理科

上記発行者の教科書を選定した理由

- ・長野県の自然や地形、身近な事象について多く取り上げられており、児童の興味、関心、親しみを持ちやすい教材が扱われている。
- ・植物分野では長野県の冷涼な気候において、植物の生育状況に合わせた学習ができるように単元配列に配慮が見られ、年間を通しての栽培等の見通しが教科書に記載されている。
- ・誰もが問題解決を指導できるように「学習の進め方」が丁寧に示されており、児童の思考や考えを大切にしながら見方・考え方が身につけられるように配慮されている。
- ・主体的で対話的な学びにつながるように、吹き出しの言葉によって問題意識を持ったり、問題解決への見通しを持ったりすることができるように構成されている。
- ・子どもの言葉で端的に結果や振り返りが書かれていることは、結果や振り返りの観点が明確になり、自分の考えを伝える表現力の向上が期待できる。
- ・身近な事象を扱ったり、単元初めにある既習内容の振り返りや上位学年での学習内容を単元の終わりに提示したりすることで関連性や連続性を意識した見方・考え方が広げられるように配慮されている。
- ・挿絵、写真、図表等の内容は、本文との関連が密に図られており、精選されたレイアウトで焦点化されている。
- ・安全面への配慮については各学年の教科書の巻頭に記載し、単元内の実験・観察でも繰り返し指導ができるように配慮されている。

I 調査表 小学校 [理科] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東書	大日本	学図	教出	信教	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1) 内容、程度が児童の発達段階に応じるよう配慮されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(2) 児童の生活経験や地域性と結びついた問題の解決に生かせ、理科の見方や考え方を働かせて問題を科学的に解決するための工夫がされているか。	○	○	○	○	◎	○
	(3) 児童が興味・関心をもって追究でき、学習が主体的・対話的に行えるような配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(4) 例示された観察、実験の方法や図が適切で正確であり、かつ安全性への配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、文字、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明でわかりやすく、児童の学習意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 目標に照らして、単元の構成や配列が工夫されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(2) 理科の見方や考え方を働かせ、相互に関わり合いながら問題を科学的に解決することができるよう、内容や単元の関連性や連続性が図られているか。	◎	◎	◎	◎	◎	○
	(3) 地域や季節の移り変わりに合うよう考慮され、学習が具体的・体験的であり、主体的に取り組めるよう、展開が工夫されているか。	○	○	○	○	◎	○
	(4) 観察、実験、飼育、栽培、ものづくりなどが、安全面や自然環境に配慮した位置付けになっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(5) 配色、さし絵・写真・図表等の内容が適切かつ正確であり、かつ、本文との関連が密接であり指導に生かせるものになっているか。	◎	○	○	◎	◎	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	◎	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [理科]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・各社ともに理科の目標をふまえ、目標達成に必要な内容を的確に盛り込んでいる。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(1)	・各社ともに児童の発達段階に応じた教材を扱っており、身近な自然現象から学習問題を見だし、文字の大きさや表現の仕方、図や写真を使った解説など各学年の児童が理解しやすいように工夫されている。
	(2)	・各社ともに生活経験と結びつけた学習を展開している。 ・長野県の寒冷な気候や地形、身近な美しい自然の写真を取り入れるなど地域の特性を考慮した単元配列や教材化がされている。(信教)
	(3)	・各社とも学習が主体的・対話的に行うことができるように、身近な問題から始まり、予想・観察実験・考察といった児童の思考にあった展開が工夫され、手順や視点が明確に記載されている。
	(4)	・各社とも図表は正確で写真も分かりやすく、安全への配慮が丁寧に記載されている。 ・QRコードを用いて、実験器具の扱い方、実験観察の方法が確認できる。(東書、学図、大日本、啓林館)
	(5)	・各社とも図表や写真が鮮明で分かりやすい。写真が大きくふんだんに使用されており、吹き出しや見出しなど児童の関心や意欲が高まるようにレイアウトが工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)	・各社とも該当学年で身につけるべき内容が、系統的にバランスよく配列されている。 ・自然事象に触れた児童が持つ疑問や思考にそった問題解決学習を重視している。(信教)
	(2)	・各社とも問題把握から考察・まとめまでの流れを繰り返し学習することで、科学的な見方・考え方が身につけられるように配慮されている。 ・既習内容の振り返りと上位学年の内容が紹介され、関連性や連続性に工夫が見られる。(信教)
	(3)	・各社ともに具体的・体験的な学習が多く取り入れられている。 ・生物単元などでは長野県の寒冷な気候に適した配列がなされ、適切な時期に学習ができるように配慮されている。(信教)
	(4)	・各社とも安全面の指導ができるように配慮され、実験器具の使い方、飼育栽培について配慮点がまとめられている。 ・長野県の自然環境に配慮した飼育、栽培の位置づけになっている。(信教)
	(5)	・各社とも配色、挿絵、写真、図表などの内容は適正かつ明瞭であり、本文との関係も密接である。 ・長野県内の自然環境をとりあげた写真が用いられ、身近な自然現象として自然や風土に触れる機会になっている。(信教)
	(6)	・各社ともまとめや振り返り、日常生活と結びつけた発展的な内容を扱っている。 ・単元末に学習のポイントがまとめられ、観点が明確になる工夫がされている。(東書、教出、信教、啓林館)
4 全体的な特色	(1)	・各社とも児童の実態に合った内容であり、単元配列や問題解決の過程で工夫が見られる。 ・長野県の自然や身近にある教材を数多く取り入れ、事象を身近に感じながら興味をもち、主体的に学習できるように、子どもの思考にそった問題解決の工夫がされている。(信教)

教科名	発行者	教科書名
生活	(一社) 信州教育出版社	せいかつ 上あおぞら 下そよかぜ

上記発行者の教科書を選定した理由

1 長野県の風土に合わせ、四季を通して、繰り返し同じ対象のもの、こと、ひとに関わり、直接体験を通して、社会事象 自然事象、自分自身に気づき、対象への思いを徐々に深めていくことができるよう配慮されている。また、活動の幅をもたせ、児童の願いに沿って多様な学習が展開されるよう配慮されている。

2 見開きの大きな絵や写真、吹き出しやイラストは、児童自身が活動について想像を広げたり、様々な発想を持ち、活動できるように効果的に配置されている。文字の量も低学年の発達段階に配慮されている。また、見開き2Pの写真と挿絵と吹き出し、文により、導入から振り返りまで、児童の思考が深まるように小単元が構成されている。今回新たに、二次元コードを掲載し、図鑑的資料を提示することにより、身近な動植物にさらに興味が持てるよう配慮されている。

3 長野県の風土を取り上げることで、児童にとって身近な自然や地域の魅力に気づき、生活科終了後3年生以降の理科・社会・総合的な学習の時間の学習ともスムーズに関連づけられる内容となっている。

4 長野県下の学校の実践を通して編集され、地域に根差した単元の構成と学習内容が掲載されており、児童を取り巻く環境や生活の実態と密接に関連している。このことは、児童の興味、関心、学習への意欲を高めるとともに、自身の生活を見つめ、生活を豊かにすることが期待できる。また、地域の特色や自然、文化を尊重することで、児童の地域への誇りを育むことも期待できる。

以上のことから、この地域の児童が使用する教科書として適切であると考えます。

I 調査表 小学校 [生活] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社						
		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1) 内容、程度が児童の発達の段階や特性を踏まえたものとなるよう、配慮されているか。	○	◎	◎	○	◎	○	○
	(2) 身近な人々、身近な社会及び自然を自分との関わりで捉え、活動が深まるよう工夫されているか。	○	○	○	○	◎	○	○
	(3) 児童の興味や関心、学習意欲を喚起し、表現を行い伝え合う活動への充実が図られているか。	○	◎	◎	○	◎	○	○
	(4) 児童一人一人の多様な活動や体験及び思考に対応でき、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成するよう配慮されているか。	○	○	○	○	◎	○	○
	(5) 説明、吹き出し等の文章は平易で明確であり、全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等は鮮明で分かりやすく、子どもの学習意欲を高めるよう配慮されているか。	◎	○	◎	○	○	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切であり、その関連性や連続性は図られているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(2) 主体的に取り組みながら、身近な生活に関わる見方・考え方を生かせるように配慮されているか。	○	○	◎	○	◎	◎	○
	(3) 児童の気付きの質が高まるよう、試行錯誤し繰り返す活動の設定が配慮されているか。	○	○	○	○	◎	○	○
	(4) 児童の気付きの質が高まるよう、伝え合い交流する活動の設定が配慮されているか。	○	◎	○	○	◎	○	○
	(5) さし絵、写真、文章表現等の内容が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接であるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(6) 振り返り表現する活動の設定が配慮されているか。	○	○	○	◎	○	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	◎	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [生活]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科書の目標からの配慮	(1) ・全社とも目標を踏まえ目標達成に必要な内容が盛り込まれている。 ・児童にとって身近な地域のもの、こと、ひとに関わり、四季を通じた直接体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身に気づけるよう配慮されている。(信教)
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等)	(1) ・入学直後の児童が安心感をもてるようにスタートカリキュラムのページを掲載するとともに、活動内容や情報量が徐々に広がり深まっていくよう配慮されている。(大日・学図・信教) (2) ・年間を通してくり返し、児童にとって身近な同じ対象に働きかけることができる構成となっており、対象への思いを徐々に深めていくことができるよう配慮されている。(信教) (3) ・児童の言葉を基にしたリード文が見出しに書かれ、児童の興味・関心、伝え合いを引き出すよう工夫されている。(学図) ・学習カード、板書、掲示等が繰り返し示されており、活動の見通しを持ったり、気づきが深められたりするように工夫されている。(大日) ・見開き2Pの写真と挿絵、吹き出し文により、児童の思考が深まるように小単元が構成されている。(信教) (4) ・児童にとって身近な活動の端緒となるような吹き出しやイラスト、写真、活動や体験の例が示され、多様な発想に対応できるよう配慮されている。二次元コードを掲載し、図鑑的資料を提示することにより、身近な動植物にさらに興味が持てるよう工夫されている。(信教) (5) ・対象物、写真、吹き出しやイラスト等が明確で、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されている。(東書・学図・光村・啓林館)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	(1) ・全社とも単元の構成や配列については、目標、内容項目に合わせて適切に配置されている。 ・長野県の風土を取り上げることで、児童にとって身近な地域の魅力に気づき、生活科終了後3年生以降の理科・社会・総合的な学習の時間の学習ともスムーズに関連づけられる内容となっている。(信教) (2) ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える工夫があり、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるよう配慮されている。(学図・信教・光村) (3) ・生活の中の基礎的・基本的な知識を押さえるとともに学んだ知識が普段の生活で活かされる場面を取り上げている。(大日) ・児童が思いや願いを実現していく学習の過程が、身近な写真やさし絵などで示されている。(信教) (4) ・さし絵や吹き出しの中に、児童が、友達や家族、地域の人々と双方向的な交流活動が行われている様子が示され、学習が深まっていくよう配慮されている。(信教)

	(5)	・全社とも内容に即した多様なイラストや写真が掲載され、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されている。 ・さらに、学びを深めたい場合には二次元コードや図鑑を配置する配慮がなされている。（東書・大日本・教出・信教・啓林館）
	(6)	・小単元末に「つたえる」の見出しがあり、自己の学びを振り返る様々な方法（絵、紙芝居、発表会等）が示されている。（教出） ・小単元末に「ぐんぐん」の見出しがあり、自己の学びを振り返る方法を紹介するとともにさらに発展できるようなイラストと吹き出しの工夫がある。（啓林館）
4 全体的な特色	(1)	・長野県下の学校の実践を通して編集されており、地域に根差した単元構成と学習内容が掲載されている。 ・活動の幅をもたせ、児童の願いに沿って多様な学習が展開されるよう配慮されている。（信教）

教科名	発行者	教科書名
音楽	(株) 教育芸術社	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2～6

上記発行者の教科書を選定した理由

①採択基準・観点の1－(1)から4－(1)までの13項目中12項目が優れた評価となった。

②題材構成の配慮

・6年間の学びが積み重なるように学年ごと発達段階を考慮した系統的・発展的な題材構成となっており、様々な楽曲や音楽活動がバランス良く掲載され、音楽的な見方・考え方を働かせて既習事項を関連づけながら学習できるように配慮されている。

③音楽的な見方・考え方を働かせた音楽活動への配慮

・音楽的な見方・考え方を働かせることができるように、音楽活動を通して無理なく音楽を形作っている要素を捉えることができるようなヒントや、児童の気づきや思考の深まりにつながるようなヒントが盛り込まれた吹き出しが充実している。また、写真やイラストで協働的な学びの姿が示されており、児童が見通しをもちながら学習できるように配慮されている。

④内容の理解を深めるための工夫や配慮

・音型や音の重なりや旋律の特徴を図形楽譜で示したり、楽曲の背景や歌詞の内容に合うような写真や挿絵が用いられたりしており、楽曲のイメージを膨らませ学習主題へ迫ることができるように工夫されている。また、ユニバーサルデザインを取り入れ、全ての児童にとって使いやすいように書体や色使い等も配慮されている。

・タブレット端末で学習をサポートするコンテンツにつながり、音楽を聴いたり創ったりリズムを叩いたりするなど、個に応じた学びができるように工夫されている。

⑤多様な音楽活動への配慮

・明確な学習観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動が行われるよう多様な教材が用意されており、教材どうしを関連させながら、学びのつながりや積み重ねが得られ、児童が主体的かつ意欲的に取り組めるよう配慮されている。

・児童の生活や心情に即した教材が各題材の歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりで掲載され、それぞれが関連し合い学びがつながるように工夫されている。

⑥指導と評価の一体化を図るための配慮

題材のねらい、観点別学習活動、学習のまとめが明確に示されていることや、巻頭の「学習マップ」や巻末には「ふりかえり」ページが設けられていることから、児童が見通しをもちながら学習したり教師が指導のねらいに応じて授業の中での児童の学びを振り返り学習や指導の改善に生かしたりしていくことができるように配慮されている。

⑦音楽文化の多様性の理解への配慮

・全学年で裏表紙に郷土の芸能や音楽について小学生が受け継いでいる様子の写真と特徴が掲載されている。また、歌い継がれている日本の歌を学年ごとに掲載し、日本的な心情や日本語の美しさに触れられる工夫がある。

・多様な鑑賞教材が掲載されており、それぞれの音楽の特徴を捉えやすくするために比較鑑賞の学習を設けるなどの配慮がなされている。また、掲載されている音楽は幅広く、いろいろな音楽に出会うことが意図されており、中学校の学習や生涯へとつながるような配慮がされている。

I 調査表 小学校 [音楽] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		教 出	教 芸
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等)	(1) 楽曲や音楽活動の程度が学年の発達段階に応じるよう配慮されているか。	○	◎
	(2) 児童の興味・関心にそって音楽活動がなされ、他者と協働しながら楽曲への理解が深まるような展開が工夫されているか。	◎	◎
	(3) 児童の主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がなされているか。	○	◎
	(4) 児童が豊かな音楽活動を楽しみながら、楽曲のよさを感じ取ることができるような工夫がなされているか。	○	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、楽譜、さし絵、写真等が鮮明で、学習への意欲を高め、内容の理解を深めるよう配慮がされているか。	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	(1) 基礎的・基本的な内容が無理なく身につくよう系統的な題材配列がなされているか。	◎	◎
	(2) 内容の関連や発展を生かした学習展開がなされているか。	◎	◎
	(3) 主体的に取り組みながら音楽的な見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら、多様な音楽活動を主体的・対話的に体験できるよう配慮されているか。	◎	◎
	(4) 地域の特性や児童の生活経験及び、個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっているか。	○	◎
	(5) 挿絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう配慮されているか。	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [音楽]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科書の目標からの配慮	(1) ・音楽を形づくっている要素が明示され、それらに着目しながら音楽表現や鑑賞の活動が進められるように構成されている。(教出・教芸) ・各学年の発達段階を考慮した系統的・発展的な題材構成となっており、音楽的な見方・考え方を働かせて領域を相互に関連づけながら学習できるように工夫されている。(教出・教芸)
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、イラスト等)	(1) ・器楽の譜面を階名と音の高さのみで示したり、鑑賞教材では旋律の音の高さや動きが絵譜で示されるなど学年の発達段階に応じた教材や学習内容が系統的に配列されたり、同じ要素でも発展的に学習できるように配慮されている。(教芸) (2) ・興味関心を引き出しながら、楽曲への理解が深まるようなヒントが盛り込まれた吹き出しが充実しており、対話的で協働的な学習を進められるように工夫がされている。また、思考の深まりにつながるヒントと共に写真やイラストで協働的な学びの姿が示されており、児童が見通しをもちながら学習ができるように工夫されている。(教芸) ・児童が見通しをもって活動できるように、見開きごとに学習のねらいと「まなびナビ」で具体的な学び方が示され主体的に学習できるように工夫がされている。また「学び合う音楽」では、協働しながら学びを深めていくことができるような学び方の例が随所に示され、対話的で深い学びにつながる工夫がされている。(教出) (3) ・活動活動の具体的な手立てが「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」「つくる」で示されており、題材のねらいにむけて音楽の要素と関連付けながら主体的・創造的に学習できるように配慮がなされている。(教芸) (4) ・音型や音の重なりや旋律の特徴を図形楽譜で示したり、楽曲の背景や歌詞の内容に合うような鮮明な写真や挿絵が用いられたりしており、楽曲のイメージをより膨らませることができるよう工夫がなされている。(教芸) ・二次元コードを読み取ることでタブレット端末で学習をサポートするコンテンツにつながり、再生速度を変えながら音楽を聴いたり創ったりリズムを叩いたりするなど、個に応じた学びができるように工夫されている。(教芸) (5) ・特別支援教育の視点に立ち、ユニバーサルデザインを取り入れ全ての児童にとって使いやすく学びやすいように配慮されている。誰もが見やすい書体や色使い、また、必要な情報に着目できるように楽譜や写真、イラストが配列されるなど、視覚的に配慮がされている。(教出・教芸)
3 学習指導への配慮	(1) ・各学年の発達段階に合わせた系統的な題材構成とねらいに即した教材の配列により、既習事項を生かしたり関連付けたりしながら無理なく学習が身に付くように工夫がされている。(教出・教芸)

「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	・題材は、各学年系統的・発展的に組織されバランス良く配列され、題材のねらいや学習活動を展開するための具体的な手立てと学習のまとめが示されており、既習事項を関連付けながら学べるように配慮されている。（教芸） ・題材は、各学年系統的・発展的に組織されバランス良く配列され、各題材内の教材は教材性を生かしながら、表現活動と鑑賞活動を組み合わせることでより学習が深まるように配慮されている（教出）
	(3)	音楽的な見方・考え方を働かせられることができるように、音楽活動を通して無理なく音楽を形づくっている要素を捉えることができるようなヒントや会話の例、体験的な活動が掲載されていることにより、主体的・対話的に学習できるよう配慮されている。（教出・教芸）
	(4)	・児童の生活や心情に即した教材が各題材の歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりで掲載され、それぞれが関連し合い学びがつながるように工夫されている。また、無理のない歌い方の工夫が示されるなど、個人差に応じた指導ができるように配慮されている。（教芸） ・裏表紙に小学生が地域の文化や芸能に取り組んでいる写真が掲載されており、地域の芸能や文化に親しみを感じられるような工夫がされている。また、発達段階に応じた遊び歌や伝統的な音楽が掲載されており、弾力的な学習ができるように配慮されている。（教芸）
	(5)	楽曲の背景や歌詞の内容を捉えやすいように、学習をサポートする挿絵や鮮やかな写真が掲載されている。歌詞の内容を忠実に表した写真が折り込みページで掲載され、それらを有効に活用することができるように配慮されている。（教出）
	(6)	・題材のねらい、観点別に構成された学習活動、学習のまとめが題材ごと具体的に示され、評価の観点が明確になるように工夫されている。（教芸） ・評価の観点につながる「まなびナビ」が示され、巻末の「音楽のもとまとめ」では音楽を形づくっている要素を観点とした評価やふり返りができるよう工夫されている。（教出）
4 全体的な特色	(1)	・各題材で学習目標や目標に迫る具体的な学習活動と振り返りが示されており、学び方を十分に身につけながら学習できるように工夫されている（教芸） ・身近な生活と音楽のつながりをコラムや写真で示される等、多様な音楽との出会いや社会と音楽の関わりが大切に扱われており、生涯にわたって音楽と豊かに関わる資質・能力が育成できるように工夫されている。（教芸）

教科名	発行者	教科書名
図画工作	日本文教出版株式会社	ずがこうさく 1・2 上下 図画工作 3・4 上下 図画工作 5・6 上下

上記発行者の教科書を選定した理由

図画工作科の授業は、どの児童も自分らしくのびのびと学習に取り組めるようにすることが大切である。個々の児童が、それぞれの経験等を基に働かせる造形的な見方・考え方を大切に追求していくことができるよう、多様な表現、多様な追求の仕方が保障される必要がある。

本教科書には、完成作品だけでなく、児童の発想を引き出す材料や道具の出合わせ方の工夫、児童の発想や構想、追求する手がかりになるような製作途中の様子や表現の効果、児童が働かせている造形的な見方・考え方が示されている。そのため、授業者が、児童の意識の流れを予想しながら題材展開を構想したり、ねらいにせまる手だてを考えたりする上で、たいへん参考になると考えられる。また、各題材見開き 1 ページの中に表現と鑑賞が位置付けられ、発想や構想→製作→鑑賞までの児童の学習の高まりがわかるように構成され、図画工作科の目標である生活を豊かにする児童の育成につながることが期待できる。

以上のことから、上記教科書を選定した。

I 調査表 小学校 [図画工作] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		開隆堂	日 文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	○	○
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1) 題材の造形的、技能的な内容が児童の発達段階に適するよう配慮され、個人差に応じた幅をもっているか。	○	◎
	(2) 児童の興味・関心・意欲を高め、主体的・対話的に活動できるような題材や導入の工夫がされているか。	○	○
	(3) 児童が感性や想像力を働かせて、イメージを豊かにふくらめ、作ったり見たりすることを喜び、楽しめる学習活動が工夫されているか。	◎	○
	(4) 用具の使い方など安全性への配慮がなされているか。	◎	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で、創作への意欲を高めるよう配慮されているか。	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 領域の目標に即し、基本と発展を考慮し、全学年を通して、関連的・連続的に扱える題材配列になっているか。	○	○
	(2) 表現と鑑賞を相互に関連させた指導のための工夫がされているか。	○	◎
	(3) 主体的に活動をしながら造形的な見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら表したいこと、表し方について考え、作品などに対する見方や感じ方などについて広げ、深められるよう配慮されているか。	○	◎
	(4) 思いを具体的に表現するために必要な、技法、技術や材料、用具に関する資料や解説は適切か。	○	◎
	(5) 学習を豊かにし、個に応じた表現を助ける資料として、図版、写真等が多面的で、児童の学習展開にとって適切なものになっているか。	○	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準 1～3 の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [図画工作]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・各社とも、道具や材料に触れる中で感じたことや気づいたことから発想し、思考錯誤をしている児童の姿や作品が掲載され、どのような児童も創造的に表現できるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1)	・題材の内容や用いる材料や用具が、児童の発達の段階に合うよう配慮されている。(日文)
	(2)	・身近にあるものを操作したり、見方を変えたりすることで、児童が多様な発想をするよう題材との出合わせ方を工夫している。(日文)
	(3)	・各社とも、児童が題材に興味をもてるような題材名の工夫と、各題材が児童の発達の段階に応じた造形活動を想起できる多様な表現と資料で構成され、製作意欲を高められるよう配慮されている。
	(4)	・各社とも、「気を付けよう」や巻末資料の「材料と用具のひきだし」において、材料や用具を安全で適切な扱いができるよう、見やすいレイアウトでまとめられている。
	(5)	・各社とも、図柄や文字の大きさや色が、読みやすいもので統一されている。また、児童の意識の流れ、発想したり構想したりするポイント、鑑賞するのポイントなどがわかりやすく示されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1)	・各社とも、すべての題材に、育成を目指す資質・能力に合わせた題材の目標が示されており、学習内容と評価の観点がわかりやすい。
	(2)	・題材ページには、「鑑賞のヒント」が示され、表現と関連した造形活動中の相互鑑賞や対話的な鑑賞のきっかけとなるような工夫がされている。(日文)
	(3)	・吹き出しを使って、児童が働かせている造形的な見方・考え方が示され、児童が追求を深めていく意識の流れと、それに寄り添う教師の指導のあり方がイメージしやすい。(日文)
	(4)	・巻末資料の「材料と用具のひきだし」では、材料や用具の基礎的な取り扱いが説明されているだけでなく、自分の表したいことに合わせて使い方が工夫できるよう提示されている。(日文)
	(5)	・完成作品だけでなく、児童が追求する手がかりとなるような製作途中の様子や表現の効果、児童のつぶやきなどが示されている。(日文)
	(6)	・各社とも、各題材のめあてに応じた「ふりかえり」の場が設けられ、自分が表した過程を振り返ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	(1)	・題材ページには、見開き1ページの中に表現と鑑賞が位置付けられ、発想や構想、製作、鑑賞までの児童の学習の高まりがわかるよう構成されている。(日文)

教科名	発行者	教科書名
家庭	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6

上記発行者の教科書を選定した理由
○題材と題材配列のよさ 住生活の内容に、5年生で「整理・整とんで快適に」「暖かい住まい方で快適に」があり、6年生で「クリーン作戦で快適に」「すずしい住まい方で快適に」がある。衣生活の内容に5年生で「着方の工夫で快適に」6年生で「衣服の手入れで快適に」があり、住生活・衣生活の題材が充実している。また、ミシンを使つての製作が、5年生の2学期に体験できることで、学習への意欲の高まりや技能の習得に有効である。 ○学習のめあて、学習の振り返りのわかりやすさ 生活の見方・考え方の4つの視点が学習のめあてとともにわかりやすく示されていて、学習で何を大切にしているかが児童にもわかりやすい。見開き2ページで学習内容がまとめられ、特に実習や製作などの手順が見やすくなっている。できたかなのチェック表や生活に生かそうの記述欄があり、自己評価ができたり、家庭生活につなげていくことができる。児童にも、専科ではなく学級担任が授業する場合も使いやすいと考える。

I 調査表 小学校 [家庭] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		東書	開隆堂
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1) 児童の発達段階や生活実態等に配慮した衣食住の題材配列になっているか。	○	◎
	(2) 身近な家庭生活の問題から、生活を工夫創造するような題材構成の工夫がなされているか。	○	◎
	(3) 児童が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的にとらえられるように配慮されているか。	◎	◎
	(4) 学習指導要領の3つの内容において、安全面や衛生面への配慮がなされているか。	○	◎
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、児童の意欲を高めるよう配慮されているか。	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるように組まれているか。	◎	◎
	(2) 児童の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるように配慮されているか。	○	○
	(3) 生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、主体的に、相互に関わりながら活動できるよう、児童の実態に立った題材の取扱いがなされているか。	◎	○
	(4) 題材が集団や個別で学ぶ内容や家庭との連携に発展する内容で構成されているか。	◎	◎
	(5) さし絵・写真・図表等の内容が適切であり、また、時代の進展に応じる内容上の配慮がなされているか。	◎	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [家庭]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・各社とも、生活をよりよくしようとする工夫する資質・能力を育成し課題を解決する力と実践的な態度を育てることができるような構成がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・衣生活の学習について、5年でなぜ衣服を着るかを考え、衣服のはたらきを知り、季節にあった着方を学び、6年で手入れの工夫を学ぶことや住生活の学習で5年で暖かく快適な住まい方を学んだ上で、6年ではすずしく快適な住まい方を学ぶことで学びが深まりやすい。（開隆堂）
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、イラスト等	(2)	・どの題材においても学習のめあてが「気づく 見つける」「わかる できる」「生かす 深める」の段階でわかりやすく冒頭に示されている。（開隆堂）
	(3)	・各社とも、興味を持って取り組み、実感をともない実践に結びつく追求がしやすいよう、写真やイラストなどの資料を多く取り入れている。
	(4)	・実習に関して安全面や衛生面が重要となる。ミシンの扱いについて児童の予想される行動に沿った記述がある。また、巻末の資料として、実習についてまとめて注意点が掲載されているため、実習を行う前に繰り返し指導ができる。（開隆堂）
	(5)	・各社とも題材ごとに色分けされて、学習のまとまりがわかりやすい工夫がされている。写真を多く活用していて、イメージが持ちやすく実習意欲や学習理解を高めることができる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・各社とも他教科で学習した内容についての記述や、各単元で内容に関わる仕事についている人々の話（キャリアインタビュー・プロに聞く！）がありキャリア教育にもつながっている。中学校技術・家庭科の学習と関連させながら学習できるようになっている。
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	・各社とも学校で学習したことを家庭で実践できるような工夫を行っているが、地域の行事等は地域ごとに様々な特色があるので、細かい点までは取り上げることは難しい。
	(3)	・学習活動が話し合おう・考えようで始まっていることで、相互に関わりながら活動できることが多くなり、主体的に学習に取り組むことにつながる。（東京書籍）
	(4)	・小見出しが問いかけの文になっており、児童がどのようなステップで学習していけばよいかわかりやすく、学習のめあてに家庭との連携についても明記されている。（開隆堂）
	(5)	・各社とも時代に応じたSDGsの視点や「持続可能な生活」という内容、プログラミング等の内容が取り上げられている。左利きの児童への配慮もされている。
	(6)	・できたかな、学習をふり返ろうのチェック表と生活に生かそうの記述欄で、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。記述や評価の量も適当である。（開隆堂）
4 全体的な特色	(1)	・各社とも協力、健康・快適・安全、生活文化・持続可能な社会の4つの視点を大切に、写真やイラスト、表などを多く活用してわかりやすく、イメージがもちやすいよう配慮がされている。 ・学習のめあてと学習の振り返りや生活につなげるための内容が、教科書に盛り込まれている。（開隆堂）

教科名	発行者	教科書名
保健	東京書籍	新編 新しい保健

上記発行者の教科書を選定した理由
全社とも選択基準に達していたが、特に東京書籍の教科書については、以下の点を中心に高い評価が得られた。 ①子どもの意識に沿った構成、課題提示が示される工夫がされており、主体的に課題解決できるよう工夫されている。 ②写真、挿絵、図表、配色などが鮮明で、見やすい配色や量であり、学習意欲を喚起する工夫がされている。 ③記述欄が充実しており、大事な言葉や気づいたこと、まとめ等を自分の言葉で書き込めるため考えを深めることができる。この1冊があれば、他の教材を準備しなくても充実した保健の授業を行うことができる。 ④内容が具体的で、だれにでもわかりやすく進められ、関心を持って取り組める。 よって、東京書籍の教科書を採択した。

I 調査表 小学校 [保健] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東書	大日本	大修館	文教社	光文	Gakken
1 教科の目標からの配慮	(1)教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等)	(1) 分量・内容・程度が児童の心身の発達段階に応じて配慮されているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(2) 児童の生活経験や運動経験、興味・関心に応じ、主体的・対話的に課題の解決に向けての学習ができるよう工夫されているか。	◎	◎	◎	○	○	○
	(3) 実感を伴う理解が図られるよう、体育（運動領域）や生活等への関連への配慮がなされているか。	◎	○	◎	○	◎	◎
	(4) 用語の解説や記号、計量単位などが適切で、見出しや文章表現が分かりやすく工夫されているか。	◎	○	◎	○	○	○
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で学習意欲を喚起するように配慮されているか。	◎	◎	○	○	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	(1) 健康安全に関する事項の系統化がはかられているか。	○	○	○	○	○	○
	(2) 健康な生活、体の発育・発達、心の健康等、各内容の配列や関連付けに工夫がみられるか。	○	○	○	○	○	○
	(3) 児童が保健の見方・考え方を働かせながら、主体的に、相互に関わり合いながら活動に取り組めるように、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなど、多様な指導方法及び学習形態の工夫がなされているか。	◎	○	◎	○	○	○
	(4) 心身の健康や安全への配慮がなされているか。	◎	○	○	○	○	◎
	(5) さし絵、写真、図表等の内容が適切で正確であるか。	◎	○	○	○	○	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [保健]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	各社とも教科書の目標が的確に示され、身近な生活の中から課題を見つけ課題解決能力を身につけられる様に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1)	1時間の中で見通しを持って学種が進められる分量で構成されている。(東書・光文)
	(2)	どのように学ぶかが分かりやすく提示され、児童の運動経験や興味・関心に対応して主体的・対話的な学習過程の充実を図ることができる。(東書・大日本・大修館)
	(3)	体育や生活等へ関連して学びが広げられるような配慮がなされている。(東書・大修館・光文・Gakken)
	(4)	大きな紙面で提示文が見やすく、重要な語句が見やすい。考えたことや大事な言葉を書く欄が充実していてまとめの記入がしやすい。(東書・大修館)く、説明が分かりやすい。
	(5)	・学習内容に興味関心が持てるように、また視覚的に理解を深められるように、挿絵や図表などが工夫されている。(東書・大日本・光文・Gakken) ・文字がUD書体に統一され、学習者も指導者も見やすく、表紙にも多様性が感じられる。(東書)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1)	健康や安全に関わる現代社会の問題を児童の発達段階に応じて扱い、学んだ知識を社会にいかせるよう工夫している。
	(2)	各学年で取り扱う内容が関連付けて提示されている。
	(3)	・学んだことを整理してまとめることができるようになっており、学習のまとめまで1冊で完結できる。(東書) ・多様な学習形態で学べるような工夫がされている。(東書・大修館)
	(4)	・運動領域や他教科との関連が充実しており、心と体の健康について充実した内容になっている。(東書・Gakken)
	(5)	挿絵や写真、統計的なグラフ等が豊富に使われ、活用のしかたについても具体的で誰でも意欲的に取り組める(東書)
	(6)	・まとめや評価の観点が明確になるように工夫され、理解できたこと、今後の課題など今後の学習や生活にいかせるようになっている。(東書)
4 全体的な特色	(1)	文字も見やすく、子ども達が意欲的に取り組めるように構成されている。大事なことはきちんと書き込みながら学びの過程を大事に学習できる。(東書)

教科名	発行者	教科書名
外国語	東京書籍	NEW HORIZON Elementary Course 5,6

上記発行者の教科書を選定した理由

- ・単元のページ構成が統一されており、見通しを持って学習活動に取り組むことができる。言語活動に取り組むための道筋が明確に示され、基本表現をもとに単語を入れ替えて表現できるよう配慮してある。数単元が終わると、既習の学習事項を使ってさらに自分の表現したいことを考えるようになっており、英語を使った表現活動が無理なくできるよう工夫されている。
- ・身近な話題から始まり、日本のことや世界のこと、国際的な問題へと内容が発展する構成となっており、児童の視野が広がる活動を展開できる。また、「Digital Map」により、児童の調べ学習が充実し、主体的な学びの姿が期待できる。
- ・語彙は別冊のPicture Dictionaryにまとめられている。中学校の学習にも配慮して選定された語彙が収載されており、小中の接続を意識した学習活動を行いやすい。
- ・CAN-DOリストが「CAN-DOの樹」として用意されており、「指導と評価の一体化」を意識しながら指導にあたることができる。また、児童自身がふりかえる際にも有効である。
- ・児童が書き込んだり切り貼りをしたりする本体は、書き込みなどの活動用スペースにゆとりがあり、学習の軌跡を残すことができる。追加のワークシートがなくても効果的に学習活動を行うことができる。
- ・デジタルコンテンツが豊富であり、I C T機器を活用した授業展開の広がりが期待できる。

以上の点から、教科の目標への配慮、児童の学習活動への配慮、学習指導への配慮が適切になされていることから本書を選定した。

I 調査表 小学校 [外国語] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1) 内容の程度及び各課の分量が、児童の発達段階に応じるよう配慮されており、適切であるか。	◎	○	○	◎	◎	○
	(2) コミュニケーションを図るための言語活動と、慣れ親しむための練習活動が、バランスよく展開されるよう内容構成への配慮がされているか。	◎	○	○	◎	◎	○
	(3) 児童の興味や関心、学習意欲を喚起し、主体的・対話的な学習を促す工夫がなされているか。	◎	○	○	◎	◎	○
	(4) 既習事項を活用しながら、音声による言語活動をはじめ、5領域に関連付けた学習ができるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、写真、図、配色、コントラスト等は鮮明でわかりやすく、児童の学習意欲を高め、理解や表現を助けるよう配慮されているか。	◎	○	○	◎	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切であるか。	○	○	○	○	○	○
	(2) 言語材料の配列や、相互の関連付けが適切であるか。	◎	○	○	○	◎	○
	(3) 児童が主体的に、相互に関わり合いながら取り組めるよう、基本的な言語材料に精選され、習熟の程度に応じた取り扱いができるよう配慮されているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(4) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて言語活動を行う際、英語学習が適切にできるよう言語の使用場面や言語の働きについて配慮されているか。	◎	○	◎	○	○	○
	(5) さし絵、写真、図、練習問題、書体等が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接であるか。	○	○	○	◎	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	○	○	◎	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	◎	◎	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [外国語]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科の目標からの配慮	(1) ・各社ともに外国語科の目標である「コミュニケーションの基礎的な技能」「目的や場面などに応じて伝え合う力」「主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を達成するために必要な内容が網羅されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等〕	(1) ・各単元の冒頭のパート・Starting Outがアニメーション映像になっており、ストーリーがつながっていることで、一年間を通して学びが継続する意識を持って活動に取り組むことができる。（東書） ・単元の流れが徐々に難易度が上がり、児童に学習の抵抗感が少なくなるよう配慮されている。（教出） ・内容が発達段階に即していて、児童が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されており、分量にも配慮がある。（光村）
	(2) ・やりとりや発表の進め方などが配置され、自己表現をするために単語を入れ替える場所を明示するなどの配慮されている。数単元学習した後に、既習事項をいかして自分の気持ちを表現できるよう内容構成が工夫されている。（東書） ・言語活動に取り組むための道筋が明確に示されており、会話のやりとりが具体的にわかるよう工夫されている。（教出） ・各UnitのStepでは「ストーリー」を通して学習する表現に気づくことから始まり、インプット中心の活動からアウトプットする活動へと、スモールステップを踏んだ活動が組まれている。（光村）
	(3) ・単元終末に異文化や自国文化に興味を持てるよう工夫されている。（東書） ・言語活動の内容が独創的で、児童の興味関心を引き出し、意欲的に活動できるよう工夫している。（教出） ・聞く活動では場面設定が、話す活動ではコミュニケーションの目的が、明確に示されており、主体的に対話しようとする意欲を高める工夫がされている。（光村）
	(4) ・各社ともに、単元の導入は聞く活動から始まり、話す活動へ移るよう構成され、さらに他領域へと関連づけて学習できるよう配慮されている。
	(5) ・デジタルコンテンツが豊富で、ICT機器を活用した授業展開の広がりが期待できる。（東書） ・写真やイラストが場面を理解する助けになっている。彩度や光度をおさえ、シンプルなイラストが多い。（教出） ・単語やchantなどの小コーナーの表記がワンポイントで示され、一時間のメインの学習内容や活動を視覚的に捉えやすいよう工夫されている。（光村）
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 各社とも、単元の構成や配列が、目標・内容項目に照らして適切である。 (2) ・5年は日本・6年は世界をテーマに言語材料が配列され、既習事項を繰り返し学習することができる工夫がされている。（東書） ・1つのUnitの中で既習表現に何度も触れながら、ゴールの活動に向けて必要な力を身につけ、思考力・判断力・表現力が育まれるよう配慮されている。（光村）

「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導他者との協働、まとめと評価	(3) ・学習した語いや表現は別冊のPicture Dictionaryにまとめられている。場面にあう語を主体的に選ぶことができる。(東書) ・各unitで、基礎的な知識及び技能の習得を先にして、それを活用しながら自分の身近なことについて、習熟の度合いに応じて表現することができるような言語活動が配置されている。(光村) (4) ・言語活動に必然性をもたせ、相手意識を持って学習できるよう配慮されている。(東書) ・活動の進め方が明示され、主体的に進めることができる。(三省堂) (5) ・絵カード、自己表現のためのワークシート、活動用シールなど、言語活動行う際、表現意欲を高めるように工夫されている。(教出) ・見開きごとに一時間の活動が明確に示されているため、途中で紙面にはない活動をはさんで補ったり、活動の順番を入れ替えたりしなくても、ゴールに向かって順に進めることができるよう工夫されている。(光村) (6) ・CAN-DOリストが「CAN-DOの樹」として用意されており、「指導と評価の一体化」を意識しながら指導にあたることができる。また、児童自身がふりかえる際にも有効である。(東書) ・巻末に年間を通して振り返りがあり、観点が明確である。(開隆堂) ・巻頭に、「○年生でできるようになること」が明記され、単元終了ごとにチェックできる工夫がされ、達成度を確認できる。(光村)
4 全体的な特色	(1) ・レイアウトのわかりやすさや明確な活動の提示など、どんな児童にとっても外国語学習へのハードルを下げるような工夫がされている。(東書) ・シンプルでわかりやすい内容とレイアウトが学習のしやすさにつながっている。(教出) ・紙面に発話例が記されており、それを手がかりにすることもできるが、活動に必要なすべてのセリフをあえて示していないことで、児童が主体的に考えることができる工夫がある。(光村)

教科名	発行者	教科書名
道徳	光村図書出版	道徳 きみがいちばんひかるとき

上記発行者の教科書を選定した理由

- ①学びの主体である児童はもちろん、新任の先生やキャリアステージが基礎形成期相当の先生にも、道徳の授業展開がイメージしやすく構成されていて、道徳の目標を実現させるための配慮や工夫がされている。
- ・教材は基本的に「導入→教材→学習のてびき」で構成されていて、1時間の授業がイメージしやすい。
 - ・「導入」では、主体的に教材に向き合えるよう、キャラクターによる問いかけから、教材を内容や道徳的価値と自分とを結び付けて考えられるようになっている。
 - ・教材末の「学習のてびき」には「考えよう・話し合おう」が設けられていて、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりするなど、多角的・多面的に考えられる発問が用意されている。
- ②6年間で児童が、広い視野で、様々な話題に触れられるよう、題材・形式ともに多種多様な教材を掲載している。
- ・親しまれている定番教材については、教材に描かれている道徳的価値を損なわず、かつ、児童の読みの負担を軽減できるよう、文章の見直しをして取り上げている。
 - ・道徳的な問題が起こっている場面そのものを、挿絵と短い文章で端的に示すなど「読み物」とは異なる形式で道徳的価値について話し合う教材も工夫されている。
 - ・現代的な課題については、教材+コラムで構成した「ユニット」を設置し、6年間でSDGsに示されている17の目標すべてに触れられるよう配慮されている。
- ③主体的な学びを大切にするための配慮・工夫が利用しやすい。
- ・第一教材「道徳が始まるよ」では、道徳が何を何を学ぶ教科なのかを理解できるよう、児童にもわかる言葉で内容項目が示され、第二教材では、道徳の学び方が示されていて、教科書が主体的な学びを支える役割を果たしている。
 - ・巻末に、児童が自己評価を残す「学びの記録」が設けられていて、学年に応じたシールや一言感想により、自分の考えや行動をふり返ることができる。教師にとっては、児童の成長を大きくりに評価するためにも活用できる。
 - ・QRコードコンテンツが用意され、教科書紙面のQRコードから、教材に関連した資料、動画、朗読などのコンテンツにアクセスができ、様々な子どもたちがいる教室で、誰もが楽しく安心して授業に参加できるよう配慮されている。

I 調査表 小学校 [道徳] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東 書	教 出	光 村	日 文	G a k k e n	光 文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確に盛られているか。	○	◎	◎	◎	○	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等 〕	(1) 内容、程度が児童の発達の段階に応ずるよう配慮がなされているか。	○	◎	◎	○	○	◎
	(2) 関心意欲を喚起し、道徳的価値の追求に結びつく工夫がなされているか。	○	◎	◎	◎	○	◎
	(3) 道徳的価値の理解を自分との関わりで深め、主体的・対話的に学習できるような工夫がなされているか。	◎	○	◎	◎	○	◎
	(4) 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を通して、多面的・多角的に考えることができるよう配慮がなされているか。	○	◎	◎	◎	○	○
	(5) 文字の大きさ、文字数、レイアウト等は児童の発達段階に応じて配慮がなされているか。	○	◎	◎	○	○	○
	(6) 全ての児童にとって読みやすさに工夫がなされており、さし絵、写真、配色、コントラスト等が鮮明でわかりやすく、問題がとらえやすくなるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	○	○	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価 〕	(1) 児童の発達の段階に即して、多様な教材が適切に配列されているか。	○	◎	◎	○	○	○
	(2) 児童が主体的に、相互に関わり合いながら取り組めるよう、地域や児童の実態に応じ、各学校で創意工夫して適切な指導計画が作成できるよう配慮がなされているか。	○	◎	◎	◎	○	◎
	(3) 現代的な課題など物事を多面的・多角的に考えるための配慮がなされているか。	○	○	◎	○	○	◎
	(4) さし絵、写真等の扱いが学習指導に生かせるものになっているか。	○	○	◎	○	○	○
	(5) 学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫されているか。	○	○	◎	○	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	◎	○	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 小学校 [道徳]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・道徳の学び方が示されたり、各教材の冒頭に「問い」を提示したりすることで、自己を見つめながら問題意識を明確にしたうえで学習できるように配慮されている。また、終末の場面で、学んだことを自分に引き寄せて考えたり、自己の生き方についての考えを深めたりする発問の工夫がされている。(光村・光文) ・動作化や役割演技、図を使って考える、話し合い等、体験的に多様な学習方法が示され、多面的・多角的な見方で考えられるよう工夫されている。(教出・光村・日文)
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では人物教材を重点的に扱うなどの配慮がなされている。(教出) ・学年に応じて重点的な内容項目が設けられたり、子どもたちに特に考えさせたい内容を「重点主題」として取り上げ、複数時間の構成で扱ったりするなど、子どもたちの確かな学習経験となるような配慮がされている。(光村・光文)
(本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、イラスト等)	(2)	・各社とも、導入部に、キャラクターによる吹き出しや内容項目に関するキーワード、教材文の概要や登場人物、学習内容に関わる発問例を示し、関心意欲を喚起し、児童が見通しをもって学習を進められるように配慮されている。
	(3)	・各社とも、教材のねらいにせまる発問例、自分自身を振り返る発問例が示され、道徳的価値に迫りながら自己を見つめて学習できるよう工夫されている。 ・第一教材では、道徳が何を学ぶ教科なのかを理解できるように、児童にもわかる言葉で内容項目を示したり、第二教材では、道徳の学び方を示したりして、主体的な学びを支える工夫をしている。(光村)
	(4)	・各社とも、話し合いや役割演技等、体験的に学ぶ学習を盛り込み、児童が実感をもって道徳的価値について考え深められるよう配慮されている。 ・「心のベンチ」という、道徳の学び広げ、深めるためのコラムやワークシートを盛り込み、多面的・多角的に考える工夫がされている(日文)
	(5)	・文字の大きさを、児童の発達段階を考慮して、できるだけ大きくしたり、低学年では分かち書きや文節改行を行ったりの配慮がされている。(教出・光村)
	(6)	・各社とも、ユニバーサルデザインフォントを使用し、すべての子どもが見やすい色づかいカラーユニバーサルデザインを取り入れるなどの工夫をしている。 ・発達段階に応じて、挿絵や写真・グラフや表などの大きさや配置が工夫されている。(東書) ・読み取りに差異が生じないように、1年～3年は総ふりがなをつけたり、漫画や写真、一枚絵など多様な表現方法を取り入れたりする工夫をしている。(光文)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・教材は内容項目ごとにまとめずに、指導時期を考えて適切に配置している。同じ内容項目の教材を時期を変えて学習することで、児童の成長を見取る工夫をしている。(教出) ・6年間で児童が、広い視野で、様々な話題に触れられるよう、題材・形式ともに多種多様な教材を掲載している。(光村)
(「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価)	(2)	・各社とも、補充教材の扱いを変えることで、児童の実態に応じ、多様な指導に対応した各学年独自のカリキュラムを作成することができるよう配慮されている。 ・清掃活動・学級会・給食・遠足等、学校で行われている活動を題材にした教材があり、学校の実態に応じて指導計画が作成できるよう配慮されている。(光村)
	(3)	・現代的な課題について、教材+コラムで構成した「ユニット」を設置し、6年間でSDGsに示されている17の目標すべてに触れられるよう配慮されている。(光村) ・現代的な課題を自分ごととして考えられる教材を多く掲載したり、様々な角度から考える「思考ツール」を掲載したりする配慮がなされている。(光文)
	(4)	・各社とも、場面の状況把握や内容理解につながる挿絵やマンガ、見開きの一枚絵などを掲載し、児童が内容を正確に把握し、主体的に学んでいけるような工夫がされている。 ・登場人物を把握しやすいよう、挿絵に登場人物名が添えられる等の配慮がされている。(光村)
	(5)	・巻末折込の「学びの記録」に発達段階に配慮した、シールや顔の表情・一言感想などの方法で自己評価を行い、児童が自分学習の様子をふり返ったり、指導者が児童の変容の様子を把握したりできるよう配慮されている。(光村・光文)
4 全体的な特色	(1)	- 教材は、基本的に「導入→教材→学習のてびき」で構成されていて、1時間の授業がイメージしやすくなっている。また、「考え、議論する」ことを学習の中心に据え、キャラクターや登場人物による呼びかけにより、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、体験的な学習が可能となるよう構成されている。 ・多様な教材が位置づけられていることにより、児童がさまざまな道徳的価値に触れ、終末の「考えよう・話し合おう」で、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するためにどうすればよいかを考えたりすることができるよう配慮されている。(光村)

